

- ③ 代表値 (主として平均値)
- ④ 散布度 (主として分散, 標準偏差)
- ⑤ 相関係数 (二つの標識間の関連をみるとき)

データを要約した値
以後これらを, データ
の要約値とよぶことに
する。

そこで, 次には, 章をかえて, この①~⑤について説明していくことにします。

第2章 データの整理とデータの要約値

1. 度数分布表

下の表は, ある学年の生徒 136 人の身長を測定して整理したものです。この表によって, 身長がどの程度のものが, どのくらいいるかが, ひと目でわかります。

(表1)

階級 (cm)	度数 (人)	相対度数	累積度数
145以上~150未満	5	0.037	5
150 ~155	19	0.140	24
155 ~160	34	0.250	58
160 ~165	43	0.316	101
165 ~170	28	0.206	129
170 ~175	7	0.051	136
計	136	1.000	

○ **度数**の欄の数字は, それぞれの**階級**に属する個数 (この場合は人数) を示したものです。また, 階級の系列に対応する度数の系列を**度数分布**といい, 階級の欄と度数の欄を組みにしてみたとき,

これを度数分布表といいます。

○ **相対度数**の欄の数値は, 度数の, 計に対する割合を示したものです。また, 階級の系列に対応する相対度数の系列を, **相対度数分布**といいます。今後, 度数分布, 相対度数分布のことを, どちらも単に**分布**ということがあります。また, 階級の欄と, 相対度数の欄を組みにしてみたとき, これを**相対度数分布表**といいます。なお, この欄の計の値は, 当然 1 になるべきなのですが, ときには四捨五入の影響で, 1 にならないときがあります。そのときには, そのまま 0.999 または 1.001 のように書いておいてもよいのですが, これが気になる方